

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 清川二期地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「帯広市田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

帯広市は、十勝平野のほぼ中央に位置し、日高山麓の広大な森林と十勝川・札内川に恵まれた、四季の変化に富んだ気候と豊かな自然環境が特徴である。

【課題】

すぐれた自然、残された自然の保全とともに、自然と共存したよりよい生活環境の整備、自然を活用した開発計画、自然環境の再生復元などが課題である。

《環境保全の基本的考え方》（「帯広市田園環境整備マスタープラン」より）

生産を支える場としての機能を維持するとともに、生産基盤の整備を行うにあたっては、自然に配慮した工法を積極的に採用し、環境と調和した農業の展開を目指す。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道帯広市に位置し、一級河川十勝川水系戸蔭別川左岸に拓けた農業地帯である。

日高山脈の山並みを背景として、農地、河川及び防風林により、農村景観が形成されており、排水路及びその周辺では多くの生物の生息、生育が確認されている。

本事業においては、帯広市の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・排水路に設置する落差工は、水面落差を低減させた形式とし、魚類の移動が可能となるよう配慮する。
- ・整備する排水路が樹林帯を横断する区間があることから、既存林の伐採範囲を最小限にすることで、防風林内に生育する希少植物への影響を回避する。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施にあたっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 生態系及び景観への配慮

- ・排水路法面に自然繊維シートを施工し、現況植生の早期回復を行い、農村景観との調和を図る。